

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 9月 30日
- 事業名 : 福島県内の町村部・浜通りのこども食堂を通じたネットワーク形成事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人ふくしま百年基金
- 実行団体 : ふくしまこども食堂ネットワーク

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成 時期	現在の指標の達成状況	進捗状 況*
1. 子育て支援状況を確認するための地域へのヒアリング。事業地域であるいわき、南相馬、相馬、富岡、広野等、市民団体、学童、保育園など多角的にヒアリングして現状を把握できる状況をつくる。	1.具体的にヒアリングができた件数 今後の協力関係を結べる団体数	ヒアリングができた地域の子育て関係者、保育園等の運営者等 15 名にヒアリングをおこない地域の現状を確認する。	2022 年 8 月	こども食堂立ち上げ希望者を中心に、2022 年 8 月までで 13 件のヒアリングを実施。	2
2. 事業地域であるいわき、南相馬、相馬、富岡、広野等への子育て担当行政部局、社会福祉協議会の子育て支援担当へのヒアリング。子ども支援の環境や課題を把握する	ヒアリングができた町村、子育て担当部局。社旗福祉協議会の数	各市町で自治体、社会福祉協議会含めて 10 件にヒアリングをする	2022 年 8 月	2022 年 3 月時点で市民・市民団体による立ち上げ希望者を把握していたいわき・南相馬・富岡・広野・浪江の 5 市町の子育て担当行政部局・社会福祉協議会の子育て支援担当にアンケートを実施。6 件の回答を得ることができた。その中から、子ども支援を充実してきたい意向を強く感じた組織に対してヒアリングを行った。2022 年 8 月時点で 5 件のヒアリングを実施。	2

<p>3. 子ども支援や、子どもの居場所づくり、子ども食堂の立ち上げ支援に関心がある人を対象に、啓発研修活動を行なってゆくことで、人材の育成を進めてゆく。</p>	<p>研修実施回数 研修参加者数 研修参加者のアンケートを実施した満足度をはかる</p>	<p>3年後に研修実施回数は延べ26回実施予定。延べ参加者は225名を想定している。そのうち実施回数、参加者ともに8割以上を達成する。研修参加者から活動の支援者への移行10人程度、並びに継続的な活動への参加者数25人程度を目指す</p>	<p>2024年 3月</p>	<p>・いわき市との共催で「こども食堂立ち上げ講座 in いわき」を開催。2022年9月～10月にかけて、3日間・6回の連続講座を企画。こども食堂立ち上げを検討する方の申し込みが27人、広くこども支援に関心のある方の参加を合わせると65人にのぼった。 ・また、南相馬市とその近隣市町村の食堂立ち上げ希望者を対象に、2023年1～3月頃に研修の実施を検討中。</p>	<p>2</p>
<p>4. 地域の子どもの居場所、子どもの食堂で育成された人材とともに親のピアカウンセリングや相談活動を行うことで、親の悩みの改善や子育て環境の改善を図る</p>	<p>子ども食堂の実施回数 親の会、子育て相談の実施回数</p>	<p>子ども食堂の実施回数を3年間で、9箇所毎月1回以上開催できるようにする。それぞれの場所において年4回の親の会、もしくは相談会が開催できる状況ができる</p>	<p>2024年 3月</p>	<p>立ち上がったこども食堂が一定数に達してから実施予定。</p>	<p>2</p>
<p>5. 子ども食堂（子どもの居場所）で積極的に子ども支援活動に参加してゆくボランティアを増やしてゆく。子育て環境改善のための事業の成果、効果を高めてゆく</p>	<p>ボランティア支援者の数。持続の可能な仕組みや構造ができるようになっている。</p>	<p>ボランティア支援者の数。持続の可能な仕組みや構造ができるようになっている。</p>	<p>2024年 3月</p>	<p>立ち上がったこども食堂が一定数に達してから実施予定。</p>	<p>2</p>

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
感染状況に合わせてイベント、研修をオンライン形式に変更 リモート勤務の推奨 面談時の消毒・検温・マスク着用の実施。

③ 広報（※任意）

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
8/26 福島民報記事 添付参照
- 2.広報制作物等
こども食堂立ち上げ講座 in いわきチラシ 添付参照
- 3.報告書等

2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
外部	報告書・アンケート等の分析・助言	後藤守衛	ファンドレイザー兼会津若松市議会議員
内部	事業全体の進捗管理	江川和弥	ふくしまこども食堂ネットワーク
内部	ネットワーク会員の管理・情報把握	宮川淳	ふくしまこども食堂ネットワーク
内部	浜通り地域の活動分析	鈴木みなみ	cotohana

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
子ども食堂の開設、子どもの居場所づくり、を通じて子どもの安心安全を創り出すことに主体的な役割を果たす意思と知見を持った人（＝コーディネーター、コアメンバー）とつながっている。 誰の変化をねらった取り組みなのか、その変	コーディネーター候補者の確保数、継続参加者数 コアメンバー候補者の確保数、継続参加者数	研修等を通じて、子どもの居場所づくりに関心を持つ人が9か所45名と共に活動ができている状態 ※コアメンバー ※運営移管	2024年3月末	南相馬市でのこども食堂啓発イベントやいわき市での立ち上げ講座を通じて多くの立ち上げ希望者とのコンタクトに成功。今後の支援に関してはある程度個別に行っていく必要があるため、支援体制やコーディネーターの増員も検討したい。 南相馬のイベントでは、以前からつながりのあった相馬市で子育て支援をしている方に参加頂いた。その際、「現在行っているフードパントリーを拡大したい、いずれはこども食堂をしたい」という言葉あった。その後も運営相談や物資支援を継続したところネットワーク会員登録し、9月に1回目のこども食堂を開催できた。こども食堂立ち上げ講座 in いわき (9/17) のアンケート結果抜粋

<p>化の主体を記載する項目になります。</p> <p>(ひとまずこのままでもよいと思いますが、指摘されたら修正して下さい。)</p>			<p>「こども食堂を運営したい・手伝いたい気持ちが増えましたか？(芽生えましたか)」(n=47)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常にそう思う 28名 ・そう思う 17名 ・どちらともいえない 1名 ・無回答 1名 <p>「こども食堂を運営したい・お手伝いしたいと思った理由を教えてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ食堂のある成年前の子ども・若者の居場所づくりを考えたい。地域で孤立している妊産婦・親子の健康的な子育て・子育て、家庭状況に困難があったり、生きづらさを抱えている若年(10代)世代の自分らしい自立を支える場を地域につくりたい、必要なのではと考えていました。以前は子ども食堂を狭小的に捉えていたのですが、食を通して子どもを真ん中に置いた多世代支援も出来ることを知りました。未来につながる立ち上げ・運営を早期に取り組みたいと思います。 ・私はシングルマザーとして生活をしていて、まわりにもひとり親・貧困など様々な事情を持つ家庭がたくさん身近にあります。夜に500円だけ子どもに預けてバイトに行っている友人、菓子パンをテーブルに置いて遊びに行く友人などととても身近にいます。身近に感じているからこそ何かしたいと思っています。私自身貧困の育ちなので強く思います。
---	--	--	--

<p>こども食堂の運営に関わるコーディネーター候補者、コアメンバー候補者に対して、子ども食堂を運営していくに必要な座学研修とOJT型の研修を終了する人を確保している。</p>	<p>研修の受講者数 研修の修了者数 コーディネーター役の認証者数 コアメンバーの認定者数</p>	<p>3年間で座学とOJT研修を修了したコーディネーター20名を養成し、研修に部分参加しているコアメンバーを30人を養成する。</p>	<p>2024年 3月末</p>	<p>こども食堂立ち上げ講座 in いわきの参加者アンケートからは、ご自身も困窮世帯で育った方、ひとり親、ヤングケアラーへの関心の高い方など、社会課題に対する地域の取り組みとしてこども食堂をとらえている人が目立った。3回の講座を通じてこのような方々の不安を取り除き、前向きに取り組んで頂けるよう支援していきたい。</p>
<p>開催想定地域において、行政と社会福祉協議会において、地域の居場所としての子ども食堂活動を認知し、担当窓口が位置づけられ、かつ具体的な支援を受ける状態になっていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当窓口の設置数 ・こども食堂事業への協力内容、件数 ・資金的な支援を受けられている状態 ・子ども支援にかかわる連携先（リファー先）が確保されている状態 	<p>4つの市町村の各行政や各社会福祉協議会において、本事業にかかる担当窓口・担当者が決まり、日常的な事業の実施、並びに困窮世帯むけにコミュニケーションができる状態になっている。</p>	<p>2024年 3月末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき・南相馬・富岡・浪江において担当窓口を確認 ・いわき市（こどもみらい課）は市内におけるこども食堂事業への関心が高く、弊団体との関係性ができたことで、「こども食堂立ち上げ講座」を協働で実施し人材育成に取り組む ・富岡町はこども食堂運営支援のひとつとして、保健師にこちらから声掛けをし、保健師による食堂訪問・個別相談を実施。

<p>開催地域において、こども食堂の活動において、地域の子どもと親が自分達の居場所、地域の居場所として認知が広がり、気軽に参加できている状態。また、相談を希望する子ども、親が相談ができる状態になっていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂の開設拠点数、開設頻度 ・こども食堂の居場所的機能をもったプログラムの実施回数、参加者数 ・利用者数 ・相談者数、件数 ・親の会の開催回数、参加者数 ・当該学区の子ども向けのアンケート 	<p>こども食堂が定期的に開催され、当該地域内での認知も上がり、継続的な参加者が得られている状態。相談を希望する親や子どもから話を聴ける事業体制ができ、また地域内の関係機関とのつながりが築けていること。</p>	<p>2024 年 3 月末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年 8 月末現在、浜通り地域において開設されているこども食堂は 5 市町 15 ヶ所、立ち上げ準備中が 4 市町 4 ヶ所。子どもたちの身近に食堂が増え、こども食堂の内容に関する問い合わせも増加しており、こども食堂の認知が高まっている。 ・居場所的機能を持ったプログラムを実施する食堂は 2 ヶ所。こちらから民生委員や保健師に声掛けをし、こども食堂に訪問する機会も増え。専門性を持った人が相談支援できる体制が整いつつある
<p>開催地域において、こども食堂の活動の理解が広がり、ボランティアとして活動を共に支える人々の参加を得ている状態になっていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂の開設拠点数、開設頻度 ・こども食堂の居場所的機能をもったプログラムの実施回数、参加者数 ・利用者数 ・相談者数、件数 ・親の会の開催回数、参加者数 ・当該学区の子ども向けのアンケート 	<p>こども食堂にかかる活動の広報を通じて、ボランティア説明会への参加が 20 人程度をえて開催され、登録者数を 15 人を目指す。</p>	<p>2024 年 3 月末</p>	<p>ボランティア募集は計画通り立ち上げ団体が一定数になったところ本格的に支援を開始予定。</p>

<p>こども食堂活動を行う9か所の事業において、運営主体は移管されている。</p>	<p>・運営移管ができるグループの数 ・運営移管を行った子ども食堂活動の数</p>	<p>こども食堂活動を行う9か所において、運営移管先となる活動主体が、コーディネーター2人、コアメンバー2~3人で構成されるグループが形成されている。</p>	<p>2024年 3月末</p>	<p>浜通りにおけるこども食堂の開設に関しては、当初の想定よりも担い手となる候補者が集まってきていることから、運営主体を自主にこだわり過ぎず、資金分配団体と相談の上、支援のかたちを柔軟に変更したい。地域人材を中心としたこども食堂活動の立ち上げには、ふくしまこども食堂ネットワークへ加盟しており、資金もしくは食材の支援を行っている場合、左記の指標の9か所に含めて進めていきたい。</p> <p>なお、運営組織基盤強化は計画通り立ち上げ団体が一定数になったところで本格的に支援を開始予定。</p>
---	---	---	----------------------	--



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察
<p>① 担い手は育っているか ② 本事業の支援により対象者(直接・間接)が期間中に新たに起こした変化はどのようなものか ③ 本事業が他の取り組みと比較して、福島県の現状に寄り添った支援になっているか</p>	<p>① 概ね達成できている ② イベントや講座の参加者から具体的にこども食堂の立ち上げを始める人が出ている。 ③ 全国的に広がるこども食堂活動ではあるが、遅れていた福島県浜通りで開設が増加していることが一定の事業評価と考えている。</p>	<p>① こども食堂の担い手の発掘と育成については予定通り進んでいる。行政等による支援環境については地域差があり、支援の少ない地域により注力する。 ② 事業開始時にこども食堂が0件だった相馬市だが、現在はフードパントリー1件とまもなく1回目を開催予定のこども食堂1件あり。こども食堂開設へのハードルを下げる事ができたと思われる。 ③ 被災・復興状況の異なる地域のニーズを把握し、そこで求められる支援を検討していくことで今後も立ち上げ事例の増加につながると考えている。</p>



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある<input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である<input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい <p>と自己評価する</p>	<p>こども食堂の開設数については概ね計画通り増加しているため、活動の質・頻度また持続性を高める支援も進めていきたい。</p> <p>行政等との連携に関しても、いわき市などの好事例をつくり他の地域でも展開させるよう進めたい。</p>

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	アウトプットが目標を達成しているか	概ね達成できている	浜通りにおけるこども食堂の開設並びに担い手の発掘については数が順調に増えてきている。個別支援の方法については再度検討の必要がある。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	実施状況の把握と見直しができているか	概ね達成できている	ステークホルダーとの関係構築状況、イベント・講座実施のノウハウはスタッフ間で共有し、改善しながら実行できている。
組織基盤強化・環境整備	実行団体が活動の継続・発展のためにどのような資源を獲得できているか	課題がある	支援活動の継続とより効果的な支援を実行するにあたりコーディネーターの確保や研修内容をより充実させる必要がある。

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

・当該地域におけるヒアリングと、状況に応じた情報提供を行ったことで、潜在的な立ち上げ希望者の掘り起こしと、行政の主体的な支援を引き出すことができたと考ええる。

③ 事前評価時には想定していなかった成果

・いわき市におけるこども食堂活動の広がりは事前評価時よりも速く広がっている。いわき市がこども食堂の支援に注力を開始し、行政の動きと連携できたことが大きい。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる <input type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある <input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている <p>と自己評価する</p>	<p>事業計画に沿った進行ができている。立ち上げ希望者への伴走支援に関しては、同じ浜通り地区でも地域で状況が大きく異なるため、よりきめの細かいサポートを実現するために、体制を見直したい。</p>

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

・こども食堂の立ち上げ準備中・立ち上げ初期にあたる団体の伴走支援計画

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

